

1. 職名及び人員 准教授 1名
2. 所属 生物資源科学部生物環境科学科 陸域生物圏グループ
3. 専門分野 森林科学分野  
森林の存在様式・生理的機作や生態系機能、生物間相互作用など森林生態系に関する基礎的な研究に取り組み、これを森林資源の持続的な管理・利用の実現に向けて多方面と連携して展開できる方。加えて、地域との協働に積極的に参画するとともに、森林科学全般の広範な知識をもとに野外実習を含む学生教育に熱意のある人材を求めます。
4. 担当授業科目 [学 部] 森林環境学、森林資源学、生態学概論（分担）、生物学Ⅱ（分担）、及び関連の実験、実習、卒業研究等  
[大学院] 陸域生態系解析論（分担）、現代統計・空間解析法（分担）、課題研究等
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること  
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること  
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること  
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和5年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員  
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制（本学給与規程による。）  
(3)勤務 裁量労働制  
(4)任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません。）  
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書（本学所定の様式1による。\*）  
(2)研究業績書（本学所定の様式2による。\*）研究業績は、①学術論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○を付けてください。  
(3)主要論文5編（コピー可）  
(4)これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む）の概要（1000字程度）  
(5)教育に対する抱負（1000字程度）  
(6)研究・地域貢献に対する抱負（1000字程度）  
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先  
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧  
注）\*印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照ください。
9. 応募締め切り 令和4年9月20日（火）必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接  
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接  
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。  
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先  
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438  
秋田県立大学生物資源科学部 森林科学分野准教授選考委員長 宮田 直幸  
TEL：018-872-1660（ダイヤルイン）、E-mail：nmiyata@akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「生物環境科学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。  
応募書類は返却しません。
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画：  
[https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317\\_koudou02.pdf](https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf))

## 今回の公募で求める人材像

生物環境科学科では、自然環境や生物資源に関わる諸課題をフィールドの視点から探求し、生物資源の活用と保全、環境修復などに関する教育・研究を行っています。森林は地上最大の炭素プールであり、有機物の一次生産者として、また大気や土壌を含む陸域の物質循環と多様な生物間相互作用を通じて、農業生産をはじめ人間活動に基盤と恵みを与えていることから、森林の存在様式や生態系機能、生物間相互作用など森林生態系に関する広範な知識のほか、持続的な森林環境の実現に向けては人と森林との関係性についても見識が求められます。そのため、今回の公募では森林生態系において基礎的な研究に取り組むとともに、地域の特性を踏まえた森林保全を意欲的に推進できる人材を求めます。

### 【教育】

本学科のディプロマポリシーを十分に理解し、野外実習や卒業論文等においてフィールド調査を中心に得られるデータの分析・解釈を森林生態系についての基本的知見や森林資源の利用・管理など森林科学分野を俯瞰しながら指導することができ、かつ、主に生態学を基盤とした森林科学分野の講義・実習に熱意をもって取り組める人材を求めます。

### 【研究】

樹木を中心とする森林生態系のモニタリング・分析技術を有し、それらを駆使して秋田及びその周辺地域の自然環境の特性を活かした基礎的な研究に取り組むとともに、現代において森林科学分野に求められる諸課題の解決に向けて広い視座に立ち、他の研究者や産学民など多方面と意欲的に連携して研究を深化・展開できる人材を求めます。

### 【地域貢献】

地域の森林環境や森林資源が現在抱える課題に対して、秋田の自然環境の特性と人による適切な森林利用についての見識のもと、地域住民の安全で快適な暮らしの実現に向けて自治体や公設試、民間企業、市民等と協働して課題の解決にあたる意欲のある人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

## 生物環境科学科 大講座制グループ構成

基本方針：人間をとりまく環境を自然科学と社会科学の両面から探求し、深刻化する環境問題を解決することにより、持続可能な社会の構築に貢献することを目指す。

### 生物環境科学科

#### 陸域生物圏グループ

- ・大気・水圏環境学分野 環境負荷物質の影響解明と持続可能な大気・水圏環境の管理・評価  
環境負荷物質、物質循環、実態把握、影響評価、高感度手法開発・評価
- ・土壌環境学分野 土壌の科学的要因解明と、持続的な環境保全的農業技術体系の構築  
土壌管理、作物生産、土壌微生物、物質循環、環境負荷低減
- ・森林科学分野 森林に関する基本的生態の多面的解析と、森林と人のふれあいの探究  
多様性、長期動態、生活史、森林管理、人と自然との関係性

#### 環境管理修復グループ

- ・自然生態管理学分野 流域生態系の自然循環機能の評価とその保全・修復技術開発  
複合汚染土壌、有用生物資源、生物地球化学循環、流域管理手法
- ・生態工学分野 生態系の物質循環機能や水質浄化機能の解析と環境技術開発  
富栄養湖沼の水質改善、水界生態系機能、難処理廃水の水質浄化、有用金属再資源化

#### 地域計画グループ

- ・地域計画学分野 地域資源活用と産業育成と地域経済循環システムの構築  
持続可能な社会、地域経済循環システム、地域資源、農業経営と農業法人
- ・環境社会学分野 大量生産大量消費社会から持続可能な社会への転換  
農・食・環境、地域の問題解決、八郎湖の再生、有機農業の地域的展開

#### 基礎生命科学グループ

- ・基礎生命科学分野 データ分析の新しい方法論構築  
リポタンパク質、トランスクリプトーム解析、インフルエンザウイルス分類